

第1章 奈良県公立学校の教職員となって

1 教職員の職務

(1)教育者として生きること

「教育」の語を『大辞林』で引いてみると、「他人に対して意図的な働きかけを行うことによって、その人を望ましい方向へ変化させること。」とある。

学校教育において、教育はまさに人づくりである。将来の社会を担っていく子どもたちを健全に育み、立派な大人へと育てていく営みである。

教職員は、単に子どもたちに知識を授けるだけでなく、子どもたちの人間形成全般に大きく関わり、その生涯に大きな影響を与える。教職員を選べない子どもたちにとって、出会いは運命的であり、その生き方に大きな意味をもつ。教職員の人間性や生き様は子どもたちの手本になることを心に刻んでおく必要がある。教職員に寄せられる社会の期待の大きさと使命の重さを強く自覚するとともに、自らの力量を高め、誇りをもって教育に携わってもらいたい。

(2)教職員として求められるもの

学校は、児童生徒が日々成長していく学習の場である。教職員は、学校運営全般に参画し、教育活動を分担・推進していく役割と責任をもっている。教職員は、個々バラバラに教育活動を進めることなく、学校組織の一員として校務を理解し、学校全体が調和と統一をもって機能するように連携・協力し合うことが大切である。

したがって、学校の教育活動が真に生き生きと機能するかどうかは、学校運営に参画する一人一人の教職員の心構えによって決まるといえる。校務においては、担当する分掌に精通し、創造的にその運営に努めることはもとより、他の分掌についても理解を深め、教育活動の活性化と発展に努めなければならない。

教職員の日々の職務は、自らの問題意識と課題に向かう創意と工夫の活動により全うされるといえる。

(3)教職員の研修

教職員は常に学び続ける職業である。その職にある間は、より高いものを目指しあらゆる人や書物等から学び続けてほしい。自らが学ぼうとしない者に、子どもたちを教育することなどできない。自己に厳しく、他のよいものを受け入れる柔軟な姿勢をもって、研修に臨むことが大切である。初任者研修をはじめとする多くの研修の機会を受け身で捉えず、研修で得たことを子どもたちに生かすという前向きな姿勢で積極的に取り組むことも忘れないでほしい。そうすれば、毎日の授業が少しずつ変わり、学級・ホームルームの様子が少しずつよくなることに気付くはずである。

《学校の一日の流れ(例)》

よい教員として児童生徒と向き合うためには、学校の一日の中でいろいろな視点が考えられます。以下を参考に自身を振り返りましょう。

- 朝の会等 ○健康観察などを通して一人一人の様子を観察し、気になる様子の子どもには声をかけるなどをして状況等を把握していますか。
○一日の連絡・伝達事項の確認を行っていますか。また、子どもが一日の見通しを立てたり、やる気が出たりするような話をしていますか。
- 授 業 ○子どものよさを生かしながら、共に学び合う授業づくりに努めていますか。
○指導方法や指導形態などを工夫していますか。
○子どもの心身の健康観察や安全に配慮していますか。
○子どもの活動をよく見て、励ましや気づきなどを伝えていますか。
- 給 食 ○明るく楽しい雰囲気づくりを心がけていますか。
○授業中とは異なる子どもの表情、言動を発見できる場にはしていますか。
- 清 掃 ○子どもと一緒に活動するなどして、子どもの様子や清掃後の状態を把握していますか。
- 帰りの会等 ○子どもの一日の健康状態を把握していますか。
○子どもが一日を振り返り、明日への希望がもてるように、よかった点や反省点を明確にして指導していますか。
○家庭ですることや明日の予定などを確実に連絡していますか。また、欠席者等への配慮も忘れないようにしていますか。
- その他 ○子どもに声をかけて、温かく迎えていますか。
○子どもや同僚とコミュニケーションはとれていますか。また、家庭との連携はできていますか。
○一日の見通しを立て、時間にゆとりをもって行動していますか。また、自身の教育活動を振り返り、計画的に教育実践の準備をしていますか。
○教員としての身だしなみや信用を失墜しないように言動には十分注意していますか。
○身の周りの整理整頓等や、教室の環境整備（机・椅子の整頓等）に配慮していますか。
○分からないことや困ったことは遠慮せず、先輩教員などに相談していますか。
○自身の心身のリフレッシュをするよう心がけていますか。

☆子どもたちの笑顔はあなたの笑顔から☆

私たち教職員にとって一番の喜びは、子どもたちの笑顔です。だから、子どもたちの笑顔のためにと授業や行事等の準備を惜しまず、つい無理をしてしまいがちです。しかし、教職員が無理をしすぎて笑顔でいられなくなったら、子どもたちの笑顔も失われてしまいます。心身共に健康でいられるように、無理せず上手にセルフケアをしましょう。